

都市再生整備計画 事後評価シート
岩村田駅周辺地区（都市再構築戦略事業）

平成30年11月

長野県 佐久市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	佐久市	地区名	岩村田駅周辺地区(都市再構築戦略事業)			面積	107.84ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	2,961百万円	国费率	0.500				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路(都市再構築戦略事業)】市道2-1号線、【高次都市施設(都市再構築戦略事業)】浅間会館、【中心拠点誘導施設】佐久市立国保浅間総合病院								
		提案事業	なし								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路(都市再構築戦略事業)】市道2-250号線	削除/追加の理由		本事業は、JR小海線岩村田駅を中心として高校等の文教施設や警察署、裁判所、税務署等の公共施設が集まる岩村田地区の交通ネットワークを構築するための道路改良事業であるが、関係地権者との用地交渉が難航しているため、計画期間内での事業完了が困難であるため計画から事業を削除した。				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	JR小海線岩村田駅に直結する道路ではないことから、影響なし。
		提案事業	なし								
	新たに追加した事業	基幹事業	なし								
		提案事業	なし								
交付期間の変更	当初変更	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	浅間総合病院の年間健康診断健診者数	人/年	9,575	H24	9,860	H29	○	あり	市では節目健診(40、45、50、55、60歳)の健診料無料化などにより、積極的に受診勧奨を行うとともに、病院においても、中小企業等で働く従業員やその家族の健康診断を受け入れる体制づくりに努めた結果、健康診断者数は、年々増加し、平成29年度には13,808人/年と、目標値(9,860人/年)を大幅に上回ることとなりました。	
	指標2	地域交流施設である浅間会館の年間利用者数	人/年	24,287	H24	25,500	H29	△	あり	開館時期が年度途中であったことから、年間を通しての利用者数の計測はできませんでしたが、平成30年度の利用状況を確認すると、一カ月平均2,178人の利用者数があり、これを年間に置き換えると約26,100人の利用が見込まれるため、目標は、ほぼ達成できたものと判断します。	平成31年4月
	指標3	JR岩村田駅(JR小海線)の日平均乗車人員	人/日	1,233	H24	1,250	H29	○	あり	岩村田地区全体の人口や世帯数の増加を主な要因としつつも、市立国保浅間総合病院をはじめとする都市機能の充実や、市道2-1号線などの周辺施設整備による効果と相まって、駅の利用者数は微増傾向にあります。このようなことを背景に、平成29年度の乗車人員は1,261人/日と、目標値(1,250人/日)を超えたため、目標は、達成できたものと判断します。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	岩村田地区周辺の児童館の利用者数	人/年	57,945	H24					平成27年7月に、新たに「佐久平浅間児童館」の供用が開始されると、3施設を合わせた利用者数は、平成27年に63,734人、平成28年度に73,483人、平成29年度に80,369人と年々増加しており、佐久平浅間小学校や居住地に近接した立地と施設の充実が利便性の向上につながり、利用者数が全体として底上げされたものと分析できます。	
	その他の数値指標2	SAKU BLOOM(サクルーム)の市外からの来場者数	人/年	20,036	H24					観光団体や青年会議所等からなる「SAKU BLOOM 実行委員会」が毎年工夫を凝らして実施することで知名度が上がり、市外からの来場者は、平成24年度の20,036人から年々増加し、平成29年度には89,442人にまで達しました。市外からの来場者が全体の来場者に占める割合も50%を超えているため、このイベントが本市の交流人口の創出に果たす役割は、大きなものと評価できます。	
	その他の数値指標3										
その他の数値指標4											
4)定性的な効果発現状況	基幹的公共交通であるJR小海線岩村田駅から半径800mの徒歩利用圏内に、中心拠点誘導施設の位置付けのある市立国保浅間総合病院が整備されるとともに、地域間交流の場となる浅間会館及び市立国保浅間総合病院と岩村田駅を結ぶアクセス道路である市道2-1号線の道路改良(踏切)が完了し、機能集約・ネットワーク型まちづくりの素地を整えることができた。										

5) 実施過程の評価	実施内容	実施状況		今後の対応方針等	
5) 実施過程の評価	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	
5) 実施過程の評価	住民参加プロセス	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	
5) 実施過程の評価	持続的なまちづくり体制の構築	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	

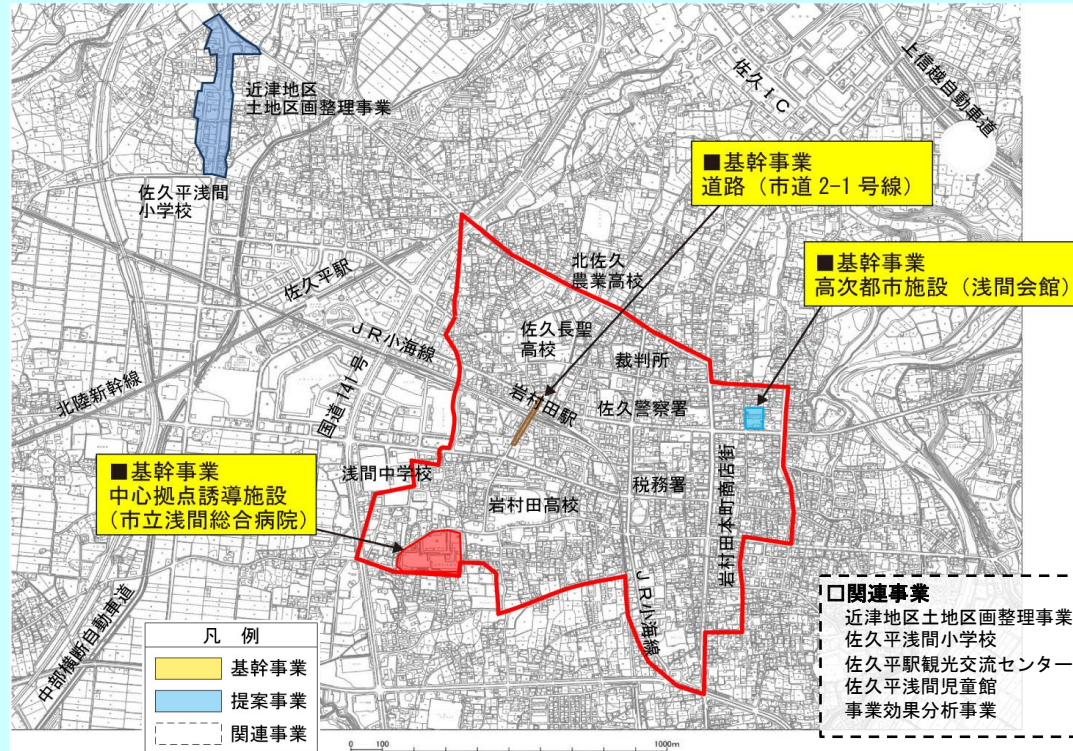
様式2-2 地区の概要

岩村田駅周辺地区(長野県佐久市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり	浅間総合病院の年間健康診断健診者数 単位: 人/年	9,575 H24	9,860 H29	13,808 H29
目標①: 地域病院の整備により地域医療体制を充実させ、持続可能な健康長寿と子育てのまちづくりを推進する。	地域交流施設である浅間会館の年間利用者数 単位: 人/年	24,287 H24	25,500 H29	16,694 H29
目標②: 交通ネットワークの活用により、交通拠点を中心とした交流と賑わいを創出する。	JR岩村田駅(JR小海線)の日平均乗車人員 単位: 人/日	1,233 H24	1,250 H29	1,261 H29
目標③: 歩行者や自転車の安心安全なネットワークと地区内の交流の拠点整備により、地域内のコミュニティ機能を再生する。	単位:	H	H	H
	単位:	H	H	H



[市道2-1号線]



[浅間会館]



[市立国保浅間総合病院]



[SAKU BLOOMイベント]

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○北陸新幹線佐久平駅のトイレ改修(バリアフリー対応)整備を行い、駅利用者の利便性が向上しました。さらに関連事業を含め、北陸新幹線佐久平駅周辺及びJR小海線岩村田駅周辺の施設整備が進展するとともに、「SAKU BLOOM」等を通じて交流人口の創出や地域の活性化が図られました。 ○基幹的公共交通であるJR小海線岩村田駅の徒歩利用圏内に立地する佐久市立国保浅間総合病院の機能充実が図られました。今後も地域の中核的な拠点病院として、快適健康都市の実現に向け大きな役割を担うことが期待されます。 ○北陸新幹線佐久平駅周辺の児童数の増加に対応するため、佐久平浅間児童館を整備しました。さらに関連事業として、佐久平浅間小学校の整備や近津土地区画整理事業による公園整備などに取り組み、安心して子育てのできる環境整備に努めました。 ○市立国保浅間総合病院とJR小海線岩村田駅を結ぶアクセス道路である市道2-1号線の道路改良(踏切)を行い、歩行者及び自転車の通行路を確保するための交通安全対策を行いました。 ○地域コミュニティ活動の拠点として浅間会館の整備を行いました。新たにユニバーサルデザインを採用した多目的トイレ、エレベーターの設置等に加え、音楽室や創作室、食育室などが整備され、施設の機能充実が図られました。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○市立国保浅間総合病院を、全国有数の健康長寿のまちであることを際立たせる取組を推進するための地域資源と捉え、継続的に医療サービスが提供されるよう支援を行うとともに、市の施策との連携により、健康長寿のまちづくりを推進します。 ○佐久平浅間児童館の整備により、ハード面での環境整備が図られたことから、今後は、ソフト面での施策の充実にも努め、安心・安全な子育て環境の実現を目指します。 ○岩村田地区の交流拠点として広く利用されていることから、今後も各種講座や教室、学習グループ活動など多様な利活用を促進し、地域内交流が活性化できるよう努めます。 ●北陸新幹線佐久平駅周辺の新市街地と岩村田商店街などの旧市街地が相互に連携したまちの魅力づくりや活性化の方策の検討が必要です。また、「SAKU BLOOM」は冬季のイベントであるため、年間を通して賑わいや交流人口を創出する取り組みが必要です。 ●地区内には、市道2-1号線以外にも狭隘道路があるため、必要な道路改良や交通安全対策に継続的に取り組む必要があります。